

第763回 立教開宗会

清澄



平成27年3・4月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (有)ブラザー印刷
送料共1部100円

お知らせ

4 月

27日 14:00
立教開宗会法要
19:00
報恩唱題行
28日 4:50
暁天法要

5 月

27日 19:00
信行会(唱題行)

6 月

27日 19:00
信行会(唱題行)

4月27日 午後2時より
日蓮宗管長
内野日総猊下御親修

本院改築報告

本院は先号において、改修から改築に変更になったことが掲載されました。

また、先に開催された本院改築建設委員会にて、現本院の解体業者が決まり、4月下旬からの解体開始が決定されました。いよいよ本院の改築も本格化してまいります。

建設委員会では、6人の建設委員と設計士、清澄寺当局が月に1度集まり、より良い本院

建設のため綿密な打合せが行われております。

改修から改築工事へ変更になり、建築費用の増加等もあり当初より資金増しもいた仕方がなく何とかこの事業を完遂すべく精進して参りたく存じます。

日蓮大聖人出家得度・立教開宗の霊場護持の為、有縁の皆様には引き続き御支援ご協力をどうかお願い申し上げます。



道善御房

第740遠忌法要

3月16日は、日蓮大聖人の恩師である道善御房の祥月命日で、本年740回目の報恩法要を墓前にて厳修致しました。

導師を務められた宮崎執事長は、日蓮大聖人が、道

善御房への想いを綴った御遺文『報恩抄』の一節「されば花は根にかへり、真味は土にとどまる。この功德は故・道善房の精霊の御身に集まるべし」と奏上し、御回向なされ



ました。

又、10年後の平成37年には道善御房の750遠忌がやって参ります。

当山では、記念すべき年に向けての計画も考察しております。



道善御房墓所



報恩殿奉安 道善御房尊像

節分会

2月3日、穏やかな天候の中、恒例の節分追儺会が奉行されました。

午前11時過ぎには、信育道場大玄関より、修法師の太鼓を先頭に、二宮別當、亀田郁夫千葉県議会議員、長谷川孝夫鴨川市長、清興出演の永井裕子さん、特別年男女、ご来賓の皆様のお練り行列が行われました。



本堂に着きますと、二宮別當大導師のもと節分追儺大法要を厳修。

法要後、祖師堂前にて、境内一杯の参拝者に向けて年中安泰無病息災を祈り「福は内、福は内、福は内」



という掛け声の中、豆が撒かれました。

豆まきが終わると信育道場に場所を移し、宮崎執事長の司会のもと、特賞の抽



選会が行われ、特賞5名の方に宿泊券などの景品がありました。

その後、特設ステージにて永井裕子さんによる歌謡コンサートの行われ、大勢のお客さんの喜ぶ姿を拝見する事ができました。

清澄寺独自の「悟覚大枿」が摩尼殿の御宝前に飾られ、早朝より多くの参拝者に特別祈祷がおこなわれ、全山に修法師による勇ましい読経、木剣の妙音が響き渡っております。

極真会館

千葉県南支部様

2月7日、昨年に引き続き極真会館千葉南支部の30名が参籠されました。



「極真空手発祥の原点
と言っべき聖地」

極真空手の創始者大山倍達が、山ごもり修行をしたとして知られる、この清澄山には、その記念碑が建立されております。

記念碑は清澄山の展望台に設置されており、一般公開がされております。

春季

彼岸供養

春季彼岸の供養が、3月18日より24日迄の1週間、朝勤にて回向されました。

迷う心を清浄にする仏道修行、お題目を唱えて心を磨く1週間となりました。



全国の檀信徒の皆様より申し込まれた沢山の卒塔婆は、彼岸明けに萬霊塔に立てられ回向されました。

平成26年度
第4回度牒交付式



2月5・6日に総勢28名の僧侶を目指す方々が度牒交付を受けられました。

受付を済まし、宗務院の担当者の指導の元、信育道場にて法式所作や読経試験を開始されました。

その後、祖師堂にて度牒交付式の予行演習をし、摩尼殿で山務員によるお開帳、更に縁起説明を受けられました。

夕食後は、千葉県南部布教隊の法話を聴聞され、度

声明講習会

2月26日、当山研修会館にて千葉県南部声明師会担当のもと、千葉教区声明講習会が行われました。

本山海長寺貫首菅野日彰猊下を講師に、「第2回礼誦儀記・散心の多誦正念を忘失す」という講題で講義を行って頂きました。

担当された声明師会では、「この講習会が、参加者1人1人の法式研鑽の役割に立ち、布教教化実践の

牒生にとって目まぐるしい一日となりました。

翌日は、午前5時40分に起床。前日からの悪天候により旭が森での旭日遙拝は中止となりましたが、6時50分より、小林順光宗務総長を大導師に度牒交付式が執り行われました。

度牒生の真摯な志を日蓮大聖人にお誓いし、これから先の抱負を胸に度牒交付を受け、記念撮影され終了いたしました。



一助となれば幸甚に存じます」と述べられていました。

談話室

この冬は昨年と変わらぬ寒さだったものの、昨年2月に襲った2度にわたる大雪のことも考え当山では雪かき用のスコップを数点用意し、冬準備にかかっておりましたが、今年はどうもすらすら白くなる程度の雪で、安堵しました。

3月に入ると日差しもすこしずつ強くなつて、お彼岸の後半からは、4月並みの気温になるなど春の到来を感じて参りました。

読者の皆様には花粉症で辛い季節となる方も多いかと思ひます。

さて、昨年の5月下旬より通行止めとなつておりました清澄養老ラインが復旧工事も終わり、3月27日より開通いたしました。皆様には迂回するなど大変ご迷惑をおかけしました。がけ崩れ箇所もコンクリートで固められ心配は無いと思ひますが、道幅も狭いので、来山の際はお気を付けてお通りください。

皆様におかれましてはくれぐれもお身体ご自愛の程、ご祈念致しております。

合掌